

# 市民と行政の協働による まちづくり計画の検討

2/  
13,17

## 登別市総合計画第3期基本計画庁内検討委員会

2月13日(木)、市役所で市幹部職員11人による『登別市総合計画第3期基本計画庁内検討委員会』が開かれました。

同委員会は、市の目指す将来都市像を実現するために、市政運営の基本的目標と施策を示す『基本計画』（平成27年度で終了する基本計画に替わる平成28年度から平成37年度までの新たな基本計画）の策定を、3月に設置する市民検討委員会と市の協働で取り組もうと設けられました。

2月17日(月)には、市民会館で、各部局担当職員による同委員会の6部会（『ぬくもり』、『防災・環境』、『産業躍動』、『都市調和』、『育み』、『まちづくり』）も開かれ、市民検討委員会にも設置する予定の各部会と協力し、広く議論を行います。

なお、第3期基本計画は、平成27年秋までに素案を策定し、同年12月の市議会に提案する予定です。



▲庁内検討委員会（上）、庁内検討委員会部会

# 『福は〜うち!』 福は〜うち!』

2014年鬼まつり

1月25日(土)、登別、幌別、鷺別、鷺別・若草各地区で『2014年鬼まつり』（同実行委員会主催）が行われ、鬼や福の神に変装した『元鬼ふりまき隊（豆まき隊）』が、無病息災や家内安全、商売繁盛を祈願し、各地区の商店街や保育所、病院などを訪れました。

各地区のイベント会場で行われた豆まきに参加した人びとは、『福は〜うち』の掛け声とともにまかれた豆に精一杯手を伸ばし、勢いよく福を取り込んでいました。

1/  
25



▲登別中央ショッピングセンター『アーニス』の2階からまかれる福豆を両手を広げて待つ参加者



▲新たに登別ブランドとして認定された『湯の香ひょうたん飴』

# 登別ブランドに 新しい仲間

平成25年度登別ブランド推奨品決定

2月18日(火)、市役所で『平成25年度登別ブランド推奨認定証交付式』（登別ブランド推進協議会主催）が行われました。

今回は『湯の香ひょうたん飴』（大黒屋民芸店）が新たに認定されたほか、『北海道大だこ地獄漬』『のぼりべつとろろプリン』『文志郎の納豆輪メ昆布巻』が再認定されました。

同協議会の成田会長は、『今後も事業者の皆さんとともに、推奨品のさらなる認知度の向上に努めたい』と話しました。

2/  
18

## 西胆振の エネルギーを考える

第2回西いぶり圏域・  
再生可能エネルギー講演会

1月30日(木)、婦人センターで『第2回西いぶり圏域・再生可能エネルギー講演会』(市・西いぶり定住自立圏形成推進協議会主催)が開催され、139人の参加者が講演に耳を傾けました。

講演では、地熱エネルギーの利用や導入への課題、先進事例のほか、富山県の宇奈月温泉における地域エネルギーの活用と電気自動車などによるまちづくり、室蘭工業大学でのエネルギー研究事例などが紹介されました。

集まった市民は、再生可能エネルギー活用について理解を深めていました。

1/30



▲講演に聞き入る参加者



▲がれきから被災地に思いをはせる児童

## 震災について学ぶ

『瓦Re:きつとフォト』授業

2月10日(月)、登別小学校で、東日本大震災の被災地である岩手県陸前高田市のがれきを使って写真立てを作る『瓦Re:きつとフォト授業』(市主催)が行われ、同校の6年生44人が参加しました。

陸前高田市で被災者の就労支援などに当たっている、(株)Hand Madeの中田源なかたはじめさんが講師として同校を訪れ、がれきは被災した人たちの大切なものだったことなどを説明しました。児童は真剣に話に聞き入り、がれきの中から生活用品やプラモデルの一部を見つけるなどして、写真立ての製作を通して改めて被災地の現状を学んでいました。

2/10

## 大地の恵みに感謝

第43回登別温泉湯まつり

2月3日(月)と4日(火)の2日間、登別温泉で『第43回登別温泉湯まつり』(市、登別観光協会主催)が行われました。

この催しは、登別温泉の豊富な湯量と多彩な泉質に感謝し、開運と無病息災を祈願するまつりで、節分に合わせて毎年開催されています。

閻魔大王の使者である赤鬼・青鬼の『湯鬼神』が、カルルス温泉と登別温泉のホテルや旅館、商店などを回り市民や観光客の厄払いを行ったほか、泉源公園では『子宝もちつき舞』や『源泉湯かけ合戦』などのイベントが行われました。

2/3-4



▲子宝もちつき舞の様子